

こども教育宝仙大学

HOSEN COLLEGE OF CHILDHOOD EDUCATION



 **こども教育宝仙大学**
HOSEN COLLEGE OF CHILDHOOD EDUCATION

学校法人 宝仙学園 こども教育宝仙大学 [入学センター]
〒164-8631 東京都中野区中央2-33-26 TEL.03-3365-0267 FAX.03-3365-0269

Japan Institution for Higher
Education Evaluation
JIHEE
since 2004
II
UNIVERSITY
2020.4~2027.3

本学は令和2(2020)年度に公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審し、「大学評価基準に適合している」と認定されました。

こども教育
HOSEN
WAY

保育を学ぶなら **HOSEN**



90年以上にわたって幼児教育に携わり、多くの保育者を輩出してきた宝仙学園。

その実績と信頼で作上げてきた独自の学びのスタイル

「HOSENスタンダード」で

これからの社会を担う保育者をめざします。

since 1927



こども教育学部
幼児教育学科

4年制

入学定員100名

男女共学

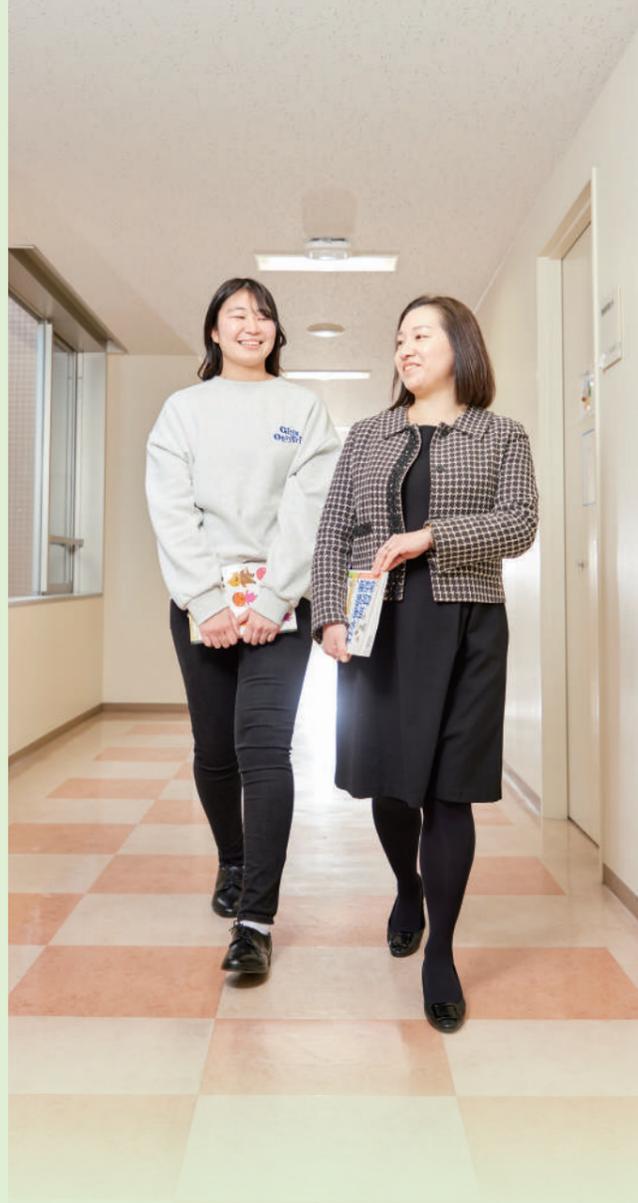
取得できる免許・資格

幼稚園教諭
 一種免許状

保育士資格

こども教育宝仙大学の独自の学び。

HOSEN スタンダード



一人ひとりに寄り添う少人数教育

詳しくは
p06 →

ゼミナールを中心とした教育体制

❖ 学生と教員の距離が近く、アットホームな環境で学べます。

少人数のクラス編成

❖ 演習系科目を中心に、少人数のクラスで授業は展開されています。

一人ひとりに寄り添う教育の実践

❖ 保育者としての人間教育につながっています。

これからの社会において活躍できる

詳しくは
p12 →

保育者養成に特化したカリキュラム

❖ 専門的なカリキュラムで、保育についての確かな教養と技術が身につきます。

オーストラリア保育留学制度

❖ 海外の保育や多文化社会が学べます。

学外教育プログラム

❖ 文化と関わるコミュニケーション力を養います。

宝仙マイスター制度

❖ 保育の現場で役立つ能力を上げます。



実践的な保育者を育てる

詳しくは
p20 →

1年次より始まる実習カリキュラム

❖ 保育についての確かな実践力が身につきます。

宝仙学園幼稚園が隣接

❖ 保育を身近に感じながら学べる教育環境があります。

充実した表現系の授業

❖ こどもの感性を育てる教育力が身につきます。

実習・キャリアサポートセンター

❖ 学生の学びと就職を丁寧に合わせてくれます。





HOSENスタンダード

一人ひとりに寄り添う少人数教育

校風は、 とてもアットホーム

こども教育宝仙大学は、学生一人ひとりに寄り添い、徹底した少人数教育を行っている保育者養成大学です。1年次より始まる「基礎ゼミ」をはじめ、2年次ゼミの「保育実践演習」や3,4年次の「専門研究ゼミI・II」に至るまで、私たちゼミナール担当教員がアドバイザーとして、個々の学生の学習指導や大学生活の相談などに関わっています。そうした日々の学生たちと教員との距離の近さが、

本学のアットホームな校風を生み出していると感じています。そして、「HOSENスタンダード」として掲げる本学独自の少人数教育の実践は、こどもの成長を支えていく保育者としての人格形成につながるものと自負しています。



石川 悦子 教授

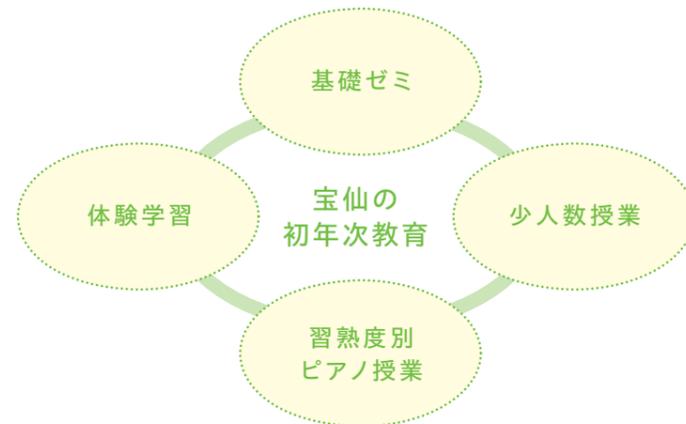


少人数ならではのアットホームな校風が一人ひとりの可能性を伸ばしていきます



本学独自の教育プログラムとして充実した「初年次教育」があります

宝仙では入学したての不安な気持ちに寄り添ったカリキュラムを展開。少人数ゼミナールの実施や、ピアノ未経験者にも対応する授業を行うなど、風通しが良くアットホームな雰囲気の中で保育の学びをスタートさせることができます。



教員メッセージ

一人ひとりに寄り添ったきめ細かい指導

大学ではさまざまな科目を履修し、必要な単位を取得していきます。大事な情報を自分の判断でメモやノートに記録したり、課題のレポートを作成するなどの基本的な学習技法も身につけていかなければなりません。1年次の「基礎ゼミ」では、新しい大学生活が円滑にスタートしていけるように少人数のクラスで教員が一人ひとりに寄り添って指導していきます。こうした環境の中で、学生は同じ目標をもった仲間と協力しあい、コミュニケーション・スキルや大学生としての責任感や自覚を高めながら、学びの基礎力を習得することをめざしています。



「基礎ゼミ」担当
林隆嗣
教授



1年次からスタートする「基礎ゼミ」

1年次からスタートする「基礎ゼミ」では、1クラス10名から12名程度で構成し新しい仲間とともに、保育者になるために必要とされる知識や技術、考える力、判断力を身につけていきます。春学期には書くことを学びの中心に置き、授業ノートのとり方やレポートの作成方法を学習します。また秋学期では、お互いの考えを理解しあうために必要なコミュニケーション力の向上をめざします。

少人数で展開される授業

こども教育宝仙大学は、専任教員一人当たりの学生数が約20名と、開学以来、一貫して少人数による教育を大切にしています。「造形と表現」や「こどもの食と栄養（健康と食生活）」などの演習系科目は、1学年を3分割して行い、一人ひとりに目が行き届く授業を展開。さらに「音楽と表現I」や「音楽実技I」では、学生数10名以下で行う丁寧な指導を実施しています。



習熟度別ピアノ授業

1年次春学期の「音楽と表現I」で歌やピアノの楽しさ、またその表現の幅広さを知り、基礎を実践的に学びます。秋学期から始まる「音楽実技I」では習熟度別にクラスが分かれ、個々のレベルに応じてピアノ（弾き歌い）のスキルを磨いていきます。授業では1人1台ピアノを使えることに加え、空き時間にも自由にピアノを練習することができます。

どこでもピアノが弾ける音楽教育環境

4部屋あるピアノレッスン室には、合わせて40台の電子ピアノ（クラビノーバ）があるほか、講義室や体育館にもアップライトピアノが設置されており、いつでもピアノにふれられる環境が整っています。



学年を重ねるごとに、保育者としての自覚も実力もステップアップ！
宝仙での学びについて、在学生の皆さんに聞いてみました。

1限	8:50~10:20
2限	10:30~12:00
3限	13:00~14:30
4限	14:40~16:10
5限	16:20~17:50

表現教育の可能性に 魅力を感じて宝仙に入学！



1年
浜中 七海 さん
昭和第一学園
高等学校出身

得意なピアノを活かし、子どもたちに音楽表現の素晴らしさを伝えたいという思いから保育者をめざすようになりました。進学先に宝仙を選んだのは、オープンキャンパスの模擬授業を受けたことがきっかけです。先生が私たちに寄り添いながら、音楽表現の楽しさを伝えてくださり、ここなら自分の表現力を高められると思いました。1年次から子どもたちと多く関われるのもこの学校の魅力です。1年次から始まる体験学習を通して、子どもとのコミュニケーションの取り方や向きあい方を学び、自分に足りない部分を分析することができました。

時間割(例)

	月	火	水	木	金
1限		発達心理学		社会福祉	ことばとコミュニケーション
2限	英語コミュニケーション(初級)	情報処理演習(基礎)	基礎ゼミ(学問への誘い)	保育原理	音楽と表現I
3限	子どもの食と栄養(健康と食生活)	身体と表現	教育原理	保育の現場を知るI	
4限				宝仙の歴史	健康スポーツ実技
5限					

未経験のピアノも上達し、 実践力を学んだ1年間



2年
柴山 怜 さん
明聖高等学校
出身

宝仙のアットホームな雰囲気がとても好きです。少人数制なので先生や先輩とも親しくなれて、キャンパス内で立ち話することもたびたびあります。また、ピアノが充実していて空いていればいつでも練習できるのも魅力です。ピアノは全くの初心者でしたが、練習していくうちにだんだんと弾けるようになり、今では「どんな工夫をすれば子どもたちは楽しく歌ってくれるだろう?」と考えながら演奏できるようになりました。2年次では本格的な実習に向けて、より実践的な学びに入っていきます。これまでの知識がどのくらい活かされるか、3年次からの保育実習が楽しみです。

時間割(例)

	月	火	水	木	金
1限	教職・保育職概論		保育実践演習I	地域文化体験	
2限		保育の現場を知るIII	障害児保育演習(理念と援助)		
3限	社会的養護II	子どもの保健	音楽実践II	子育て支援論	造形と表現
4限	英語コミュニケーション(初級)	仏教概論		乳児保育I	子どもの健康と安全
5限				子どもと親のストレスマネジメント	

不安だった保育実習が 自分を成長させるきっかけに！



3年
源川 珠里 さん
雪谷高等学校
出身

3年次から本格的な保育実習が始まり、2週間の間、多くの子どもたちと関わります。これまで保育所などでのアルバイト経験がない私は、前日まで不安とプレッシャーに押しつぶされそうでした。しかし事前指導の授業での学びが役に立ち、とても楽しく有意義な実習になりました。自分が積極的に行動し、元気に話しかけることで、子どもたちも心を開いてくれて嬉しかったです。実習を通して自分に自信をもてるようになりました。宝仙の先生方は学生全員のことをわかってくださっているので、どんな小さなことでも相談ができて安心です。

時間割(例)

	月	火	水	木	金
1限		絵本と児童文学	専門研究ゼミI(講読と発表)		保育実習I(施設事前事後指導)
2限	保育内容の指導法I				
3限		保育内容(環境)	ボランティア		子ども理解と教育相談
4限	地域社会と子ども家庭福祉	保育内容(人間関係)	ボランティア	歌遊び	保育方法論
5限		現代の倫理と宗教	ボランティア	プレゼンテーション演習	マルチメディア演習

保育実習での反省点を踏まえて2週間の教育実習へ！



4年
戸田 翠 さん
鷺宮高等学校
出身

3年次の保育実習では自分の準備不足から後悔が残り、事前準備の重要性を痛感しました。より長い時間を子どもたちと過ごす教育実習は、準備を万全にしてのぞもうと決まっていた。そこで役に立ったのが実習前指導の授業です。やっておくべきことや心づもりなど、教育実習を終えた先輩からの実体験に基づいたアドバイスは大変参考になりました。この4年間で成長したと思える点は、子どもに対する接し方です。入学当初は「かわいい」という思いだけで子どもと関わっていましたが、今では子どもの気持ちを尊重しながら接していくことを大切に考えています。

「保育実習」タイムスケジュール

時間	活動	内容
7:30	出勤	朝の掃除をし、子どもを受け入れる準備を行う
8:40	登園	子どもを笑顔で受け入れる
10:00	朝の会	子どもの登園確認
12:30	昼食	昼食後から降園まで外遊び
14:30	降園	子どもが降園した後は、反省会・掃除を行い、時には保育に使うものを製作する
16:00	退勤	先生に挨拶をして帰宅





HOSENスタンダード

これからの社会において活躍できる

これからの社会に 対応する保育者に

こども教育宝仙大学は、実践力ある保育者を輩出することはもちろんですが、多様な文化や価値観を認めていくことがより一層求められるこれからの社会において、卒業後も大学で身につけた力を十分に発揮し、活躍していく学生たちを育てています。本学は、幼稚園教諭一種免許状と保育士資格を取得するためのカリキュラムをベースに、オーストラリアでの保育留学や宝仙マイスター制度、保育の学

びを拡げるさまざまな学外教育プログラムなど、学生自身がそれぞれの個性を発見し、それを伸ばしていく多彩な学びを用意しています。こどもを育て、自分を育て、そして未来の社会を育てていく学生たちを、私たちは応援していきます。



松倉 佳子 准教授



多文化共生社会に対応し、現代社会に求められる質の高い保育者を育成するために、本学には特色のあるさまざまな学びがあります。

単位制度について

大学では、授業科目ごとに単位が定められ、卒業するために必要な単位を取得する制度をとっています。幼児教育学科では、各年次と学期に配当された必修科目と選択科目の中から、卒業、幼稚園教諭一種免許状取得、保育士資格取得のそれぞれに必要な科目を履修していきます。

卒業するのに
必要な単位
124 単位以上

幼稚園教諭一種
免許状取得に必要な単位
61 単位以上

保育士資格取得に
必要な単位
87 単位以上

※これは2023年度入学生のカリキュラムです。入学時のカリキュラムとは異なる場合があります。

	1年次		2年次		3年次		4年次							
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期						
総合基礎領域	宝仙の歴史 現代の倫理と宗教 こどもと親のストレスマネジメント 生と死を考える 健康スポーツ実技 英語(初級) 情報処理演習(基礎) 海外保育事前学習(英語)Ⅰ	宝仙の教育 人間形成論 日本国憲法 多文化理解 情報リテラシー 職業と社会 食育と現代社会 地球と環境 健康スポーツ理論 英語(中級) 情報処理演習(応用) 海外保育事前学習(英語)Ⅱ	仏教概論 現代の倫理と宗教 こどもと親のストレスマネジメント 生と死を考える 英語コミュニケーション(初級) 情報メディア演習 基礎中国語(入門) 地域文化体験 海外保育事前学習(英語)Ⅰ	人間形成論 ブッダの教えとこども 日本国憲法 多文化理解 情報リテラシー 職業と社会 食育と現代社会 地球と環境 英語コミュニケーション(中級) 基礎中国語(初級) 海外保育事前学習(英語)Ⅱ	現代の倫理と宗教 こどもと親のストレスマネジメント 生と死を考える 実践英語(初級) 情報メディア演習 プレゼンテーション演習 中国語コミュニケーション(入門)	人間形成論 ブッダの教えとこども 日本国憲法 多文化理解 情報リテラシー 職業と社会 食育と現代社会 地球と環境 実践英語(上級) 中国語コミュニケーション(初級) 国外保育体験 こども心理学	現代の倫理と宗教 こどもと親のストレスマネジメント 生と死を考える 実践英語(初級) プレゼンテーション演習 中国語コミュニケーション(入門)	人間形成論 ブッダの教えとこども 日本国憲法 多文化理解 情報リテラシー 職業と社会 食育と現代社会 地球と環境 実践英語(上級) 中国語コミュニケーション(初級) 身体遊び実践論 こども食育実践論						
ゼミナール	基礎ゼミ 学問への誘い		学問に触れる		保育実践演習Ⅰ 保育実践演習Ⅱ		専門研究ゼミⅠ 講読と発表		専門研究ゼミⅡ 調査と発表		専門研究ゼミⅢ 卒業研究の基礎		卒業研究の完成	
「保育の現場を知る」 「保育実習」「教育実習」	保育の現場を知るⅠ 体験学習Ⅰ(幼稚園)	保育の現場を知るⅡ 体験学習Ⅱ(施設)	保育の現場を知るⅢ 体験学習Ⅲ(保育所)	保育の現場を知るⅣ 体験学習Ⅳ(幼稚園)	保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅰ(施設) 教育実習(海外保有) 教育実習事前事後指導(海外保有)	保育実習Ⅱ(保育所) 保育実習Ⅱ(施設) 教育実習(海外保有) 教育実習事前事後指導(海外保有)	教育実習 教育実習事前事後指導							
表現系科目	音楽 音楽と表現Ⅰ	音楽実技Ⅰ(総合基礎領域)	音楽実技Ⅱ(総合基礎領域)	音楽と表現Ⅱ	歌遊び	リズム、音楽遊び	歌遊び	リズム						
	造形		造形と表現			保育内容の指導法Ⅱ								
	身体 身体と表現													
	教育原理 発達心理学 ことばとコミュニケーション 社会福祉 保育原理(意義と本質) こどもの食と栄養(健康と食生活)	教育制度論 保育内容(言葉) 保育内容総論 こども家庭福祉 こどもの食と栄養(発達と食生活)	保育内容(表現) 教職・保育職概論 乳児保育Ⅰ 障害児保育演習(理念と援助) こどもの保健 こどもの健康と安全 子育て支援論	保育カリキュラム論 保育内容(健康) 保育相談支援 こどもの理解と援助 障害児保育演習(現状と課題) 社会的養護Ⅰ	特別支援教育概論 保育内容(環境) 保育内容(人間関係) 保育方法論 保育内容の指導法Ⅰ こども理解と教育相談 社会的養護Ⅱ 子育て支援フィールドワーク(基礎) 地域社会とこども家庭福祉 絵本と児童文学 障害児の発達理解	保育原理(保育ニーズの多様化) 乳児保育Ⅱ 家庭支援論 こども英語指導法 子育て支援フィールドワーク(応用) 子育て支援カウンセリング	子育て支援フィールドワーク(基礎) 地域社会とこども家庭福祉 絵本と児童文学 障害児の発達理解	こども英語指導法 子育て支援フィールドワーク(応用) 絵本と児童文学 児童文化 保育・教職実践演習(幼) 在宅保育論						

カリキュラムポリシー

- 「総合基礎領域」は、建学の精神を理解し、大学生として必要とされる基礎的な技法、情報化社会に対応できる能力、さまざまな問題を考えるための教養、体験や経験に基づく知恵などを身につけるための科目のまとまりです。
- 「総合専門領域」は、質の高い保育者として必要な知識・技法を幅広く身につけるために設定した幼児教育基礎科目群、幼児教育応用科目群、幼児教育発展科目群、および幼児教育関連科目群から構成された科目のまとまりです。
- 幼児教育基礎科目群は、人としてこどもの教育・保育に関わるすべての大人が備えるべき素養を身につける科目のまとまりです。
- 幼児教育応用科目群は、幼稚園教諭という専門職養成に必要な知識と技法の修得に主眼をおいた科目のまとまりです。
- 幼児教育発展科目群は、幼児教育基礎科目群、幼児教育応用科目群および幼児教育関連科目群における学修内容を体験的に検証し、実践的能力を身につけるための科目のまとまりです。
- 幼児教育関連科目群は、保育士という専門職養成に必要な知識と技法の修得に主眼をおいた科目のまとまりです。

教員メッセージ

豊かな教養と専門性を兼ね備えた保育者に

本学のカリキュラムは、建学の精神やカリキュラム・ポリシーに基づき、質の高い幼児教育・保育・児童福祉に携わる専門職の養成を大きな柱とするとともに、多文化共生社会に対応し現代社会に求められる高次元の倫理観と豊かな教養、幅広い専門知識を持った人材育成を目的に編成されています。

授業は、「総合基礎領域」と「総合専門領域」から構成され、その中には保育現場での実習や体験学習、独自の表現教育なども盛り込まれています。また、保育留学や宝仙マイスター制度などのプログラムを通じ、学生自身が自分の個性を発見しながら保育の学びを深めていけることも、本学の教育の魅力といえるでしょう。



こども教育学部長
石川 悦子
教授

オーストラリア保育留学制度

在籍期間中に保育留学を行い、国内外で3つの幼児教育・保育にかかる資格の取得をめざす

2014年度からオーストラリア課外プログラムを実施しています。保育の現場でもグローバル化が進む中、さらに2022年度からオーストラリア保育留学制度をスタートしました。希望者は3・4年次に約11ヶ月間オーストラリアに留学し、異文化への理解を深めるとともに、オーストラリアの保育士資格Certificate IIIの取得をめざします。

国内とオーストラリア、2つの地域で行う保育実習や文化体験交流は、現代の保育者に求められるグローバルな視野を身につけることができる本学独自の学びです。本制度は、その教育内容が評価され、2022・2023年度と2年連続で日本学生支援機構による「海外留学支援制度」に採択されました。



● 制度の概要

4年間の在学中に、約11ヶ月間オーストラリアに留学し、①国内の幼稚園教諭一種免許状、②保育士資格に加え、③オーストラリアの保育士資格Certificate IIIと、国内外で3つの免許・資格の取得をめざす制度です。2年次の秋学期に希望者(定員10名)を募り、3年次から留学予定者の履修コースに移行し、留学に備えます。

● 留学期間・留学先

3年次の2月から4年次の12月までの43週間、オーストラリアに留学します。留学先は本学と姉妹校協定を交わしているImagine Education Australiaです。Imagineは本学と2014年度からオーストラリア課外プログラムで提携を行っている教育機関で、英語学校、保育の専門学校、保育所も経営していることから、すべての留学プログラムをここで修了することができます。英語学校でまず15週間英語を学び、その後28週間の保育コースに進みます。保育コースでは120時間の保育実習も行います。また留学期間中は、本学教員による現地訪問・指導やオンライン相談・指導を行います。

● 留学先での生活・サポート体制について

最初の5週間から8週間程度はImagineが斡旋する家庭にホームステイをし、その後はホームステイを継続するか、コンドミニアムやシェアハウスなどに移るかを選択します。現地での生活についてはImagineの日本人スタッフに気軽に相談ができます。

● こども教育宝仙大学での履修

1年次から留学予定者向けの留学準備講座を受講できます。また通常4年次に行う幼稚園での教育実習を3年次に行い、すべての国内実習を3年間で修了した上で、オーストラリアへ出発します。このため3年次からは留学予定者専用の履修コースに移行します。また、オーストラリアでは、4年次のゼミをオンラインで受講します。

● 学費について

留学先の授業料は本学に納めていただく4年次の授業料を充当します。このため留学生はそれ以外の学生と4年間で納める学費が変わることなく、語学力を身につけ国内外3つの資格取得にチャレンジできます。さらに本制度は、その教育内容が評価され、2022・2023年度と2年連続で日本学生支援機構による「海外留学支援制度」に採択されました。

学外教育プログラム

国外保育体験

～オーストラリアでの幼児教育・保育体験、及び英語研修

保育英語を身につけ、多文化共生社会でのグローバルな保育者をめざす

オーストラリアのゴールドコーストで約1週間にわたり実施される「国外保育体験」は、保育英語の基礎力を身につけるとともに、現地の幼児教育・保育施設の見学、保育実習体験により、多文化社会における幼児教育・保育を学ぶことのできる研修です。研修は本学と姉妹校協定を交わしているImagine Education Australiaで行います。

- プログラム
- 1 英語授業履修による英語力アップ
 - 2 オーストラリアの幼児教育・保育施設における実習体験
 - 3 オーストラリアの幼児教育・保育の理解
 - 4 幼児教育・保育関係者との交流
 - 5 クイーンズランド州自然体験

地域文化体験

～富山県・利賀村(現・南砺市)での地域交流と生活文化の研修

自然豊かな環境の中で、地域の人たちと交流する

利賀村で行う「地域文化体験」は、前身の短大時代から約50年にわたり実施され、2005年には文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」に選定された、本学独自の教育プログラム。3つの体験学習プログラムを通じて、人との交流の大切さや現代のこども環境のつながりについて学びます。



プログラム1

地域の生活文化にふれる

研修の参加学生は、民宿ごとにおかれ、利賀村の方々の食文化の交流や薬細工などの伝統工芸品の制作等を体験し、自然環境に根ざした生活文化にふれていきます。

プログラム2

地域の伝統文化にふれる

「麦屋節」や「こきりこ」などの民謡を通じ、利賀村の伝統文化にふれます。また近年は利賀演劇祭も鑑賞し、利賀村で展開される芸術文化についても学んでいます。

プログラム3

地域の保育にふれる

昨年の研修では、地域の保育所において「手作りおもちゃ遊び」を行いました。山間地域で暮らすこどもの関わりは、参加学生の保育の幅を広げる経験となりました。



将来に向けて視野を広げるためにオーストラリアの保育留学に参加!

オーストラリアの多様性に富んだ保育を現地で学びたくて保育留学に参加。オーストラリアの保育士資格が取得できることもとても珍しく、魅力に感じました。留学までの一年間はゼミを通してオーストラリアに対する知識を深めたり、実習で使う保育教材などを制作しました。春学期はネイティブとのオンライン英会話で語学力を身につけ、秋学期にはオーストラリア人講師の方から現地で過ごす際のポイントや注意点を学びました。私の将来の夢はインターナショナルスクールの保育士です。この留学経験がきっと生きてくると確信しています。



4年 菊池 恵梨奈さん
大東文化大学第一高等学校出身

4年間で国内外3つの資格取得をめざす

- 幼稚園教諭一種免許状
- 保育士資格
- Certificate III (オーストラリア保育士資格)

留学先の授業料負担ゼロ

留学先授業料約109万円 (2022年度実績)

0円

卒業後の活躍ステージ

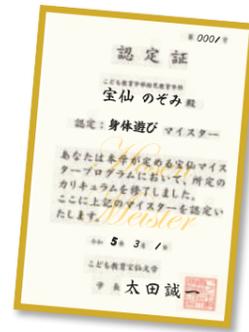
オーストラリア保育留学制度参加者の将来の活躍ステージ。これからのグローバル化時代に国内・海外で活躍の場が広がります!

- | | | | |
|------|------------------------------|-----------------------------------|----------------|
| 国内 | ● 保育に英語を活用している保育所・幼稚園・こども園 | ● インターナショナルプリスクール | ● 保育所・幼稚園・こども園 |
| 海外 | ● 海外の保育施設 | ● 海外に滞在している日本人のこどもを対象とした保育・幼児教育施設 | |
| 一般企業 | ● グローバルにこども関連の事業を展開する一般企業 など | | |

宝仙マイスター制度

保育者としての専門的な知識・技術に加え、
こども教育の現場に役立つ“もうひとつの力”を身につける

「宝仙マイスター制度」とは、もっと能力を磨きたいと考える分野のプログラムを選択し、カリキュラムに沿った認定条件を満たすことで、マイスター認定証が授与される制度です。「宝仙マイスター制度」には「食育おやつマイスター」、「身体遊びマイスター」、「異文化・国際理解マイスター」、「こども心理マイスター」の4つのプログラムがあり、保育の現場で役に立つ力を身につけることができます。



食育おやつマイスター



「こどもが行うおやつ作り」を中心に、食育、調理、環境設定などを具体的に学び、クッキング保育を行う実践力を身につけます。

身体遊びマイスター



身体遊び・ダンス・身体表現など、こどもの身体活動に関して実践的な知識と経験を身につけ、+αの力の習得をめざします。

異文化・国際理解マイスター



多様な文化的背景を持つこどもと保護者、保育者の三者のやりとりができるよう、異文化と国際理解についての知識を深めます。

こども心理マイスター



心理学は、心と行動の科学です。心理学を通してこどもの発達や個性を理解し、現代のこどもが抱えるさまざまな課題に積極的に対応できる専門知識と実践力の修得を目指します。

学びを広げるプログラム

特別講師を迎えたゲストレクチャーや、こども教育研究センターの活動に参加し、
社会とのつながりを感じながら保育の学びを広げていく

特別講師によるレクチャー

多彩なゲストによるユニークな特別講義の展開

本学では社会で活躍する多彩な特別講師を授業にお招きし、ユニークなゲストレクチャーを展開しています。例えば、3年次秋学期の「保育内容の指導法Ⅱ」においては、「つくってあそぼ」のワクワクさんでお馴染みの久保田雅人先生による特別講義「身近な材料を使った手作りおもちゃのワークショップ」を行い、こどもの造形表現や保育と遊びのつながりについて、楽しく学びを深めました。また選択科目の「職業と社会」では、保育現場で活躍する本学の卒業生や企業の方々をお迎えしたゲストレクチャーを実施し、個々の学生が社会人としての自己の将来像を広げることができました。本学の特別講義におけるさまざまなゲスト講師との出会いや交流は、大学で学ぶことの魅力と学生自身の視野を広げる機会として、年間を通じて展開されています。



久保田雅人先生による特別講義

HOSEN社会連携プログラム

社会とともに、学生の学びを広げる

「HOSEN社会連携プログラム」は、4年次学生を対象学年の軸とし、保育施設や地域の公共機関等と連携して、こども教育の学びと社会を接続し、より具体的な実践体験を推進するプログラムです。プログラムは、「保育実践フィールドワーク」と「表現実践フィールドワーク」により構成され、本学の教育特色である「保育の実践力」や「ユニークな表現教育」を展開します。本学の教育を社会貢献に繋げ、学生がその意義を学んでいます。



学生と中野区長とのタウンミーティング

こども教育研究センターの取り組み

地域における子育てイベントを企画

こども教育研究センターでは本学の教員の研究内容を活かし、地域の中でこどもの育ちを支えるイベントを企画しています。2022年度実施の「HOSENこどもフェスティバル」では、地域の親子を参加対象に、「身体遊び」や「お絵描き」、「音楽遊び」、「食育」をテーマとするワークショップを開き、大変盛況でした。イベントには宝仙マイスターの受講生も参加し、地域のこどもとの関わりを体験しました。



「HOSENこどもフェスティバル」

こども教育研究センターは、「子育て支援事業の企画及び運営」「こども発達支援に関する相談事業」「こどもを対象とする公開講座の実施」など、専門家の視点から、地域に根ざす子育て支援活動を推進・展開しています。



保育に不可欠な食育に対して、 新たな気づきをもらえました

「食育おやつマイスター」で、保育時間の中でこどもと一緒に作れるおやつメニューを考案しました。これまで既存のレシピで料理をすることはあっても、自分でレシピを開発するのは初めて。似ているメニューを参考にしながら試作を繰り返し、学生同士で材料や食具、手順などを懸命に考えました。結果、満足のいくレシピが完成し、同時に調理する際の事前準備の重要性にも気づくことができました。この経験を活かし、就職先でもこどもたちが食に興味をもてるような活動に取り組んでいきたいです。

2023年3月卒業
庄司 澄美香さん
日本体育大学桜華
高等学校出身





HOSENスタンダード

実践的な保育者を育てる

現場の学びで 実践力を育成

こどもたちの声が聞こえてくるこども教育宝仙大学のキャンパス。隣接した宝仙学園幼稚園から伝わる園児たちの元気な様子は、学生たちの日々の保育の学びにも響き渡ります。本学では1年次より、この学園幼稚園や関係する保育所、施設などにおいて、実際の保育現場やこどもの姿について体験的に学ぶ授業を行っています。そして学生たちは、こどもとの関わりのイメージを持ちつつ、

3年次での「保育実習」、4年次での「教育実習」へと進んでいきます。大学の授業で身につけたことを実習で確かめ、また実習での経験を大学の授業で振り返る。そうした学びの往還を通じて、実践力ある保育者として成長してほしいと願っています。



須永 美紀 教授



1年次の体験学習から 実習カリキュラムがスタート

本学では隣接する宝仙学園幼稚園で1年次から多くのこどもたちと豊富な実習経験ができます。
保育の現場を通して、一人ひとりのこどもと寄り添う仕事の大切さを実感していきます。

実習スケジュール



保育の現場を知る

1年次からスタートする、本学独自の実践的カリキュラム

「保育の現場を知る」は、保育実習・教育実習への導入として位置づけられています。その中で実施される体験学習は、大学と隣接する宝仙学園幼稚園、保育所、各種施設で、1・2年次の各学期、計4回にわたり実施されます。

保育実習・教育実習

保育者として多彩な実践力を身につける実習カリキュラム

幼稚園や保育所、児童養護施設など、多彩な施設での実習により、幼児教育・保育の実践力を養っていきます。3年次はそれぞれ2週間の保育実習、4年次は4週間の教育実習を通して、理論と実践を結びつけていきます。

大学に隣接する 「宝仙学園幼稚園」

こどもの姿から
保育者の喜びを
学んでいく

宝仙学園幼稚園
田中 昭子
園長

キャンパスは幼稚園に隣接し、常にこどもの世界がイメージできる環境にあります。幼児教育は保育者とこどもが生活をともにしながら行う教育であり、保育者はこどもの遊ぶ姿からこどもに今、必要とされることを見極め、的確な指導を行います。その指導は保育者の幼児理解によるものです。これらを確実な理解につなげていくのが実体験であり、こどもを観察し、親しくふれあい、関わり方をさまざまに試すことで保育者としての資質が磨かれていきます。園生活では想定外のこともありますが、大学での授業と実習を双方向に繰り返す中で幼児教育に対する理解が積み上げられていきます。



宝仙の実習をのぞいてみよう！

保育実習と教育実習を体験した先輩たちが日々の授業や事前指導で学んできたことをどんな風に実習で活かし、現場で実践しているのかメッセージと1日のタイムスケジュールで紹介します。



4年
立河 宗一郎 さん
大東学園
高等学校出身

保育実習 1 Day Schedule

はじめての実習も事前指導の授業で
流れがつかめます

はじめての保育実習は不安でいっぱいでした。そんな思いを受け止めてくださったのが先生方や先輩方です。どんなことでも気軽に相談しやすいこの学校の雰囲気がとても気に入っています。事前指導の授業では、園の様子を記録したビデオを観て日誌を書く練習をしたり、保育現場を想定したロールプレイングを行います。保育者としてのマナーや挨拶など社会人としての心得を一通り学べたこともよかったです。実習を通して身についたのは、年齢に応じたこどもの接し方です。間違ったことをしても、こども自身に気づいてもらえるような声かけもできるようになりました。

立河 宗一郎さんの
「保育実習I(保育所)」タイムスケジュール

8:30	職員同士での朝の会の後、こどもたちの登園を挨拶で迎える
9:30	朝の会を終えて、制作活動や室内活動
11:30	給食の準備
12:50	給食の片付けをした後、こどもたちの午睡を見守る
14:50	こどもたちを起こし、おやつ準備
16:30	帰りの会・順次降園



教育実習 1 Day Schedule

こどもたちと一緒に自分自身も
ひとまわり成長できました

教育実習では保育活動を任せられる責任実習が行われます。一人ですべて考えなくてはならないため不安ばかりでしたが、先生にたくさん質問したり相談したりして、少しずつ解消していきました。事前指導の授業では先輩方の指導案を参考に準備を進め、年齢に合った手遊びや絵本の選び方なども学習。4週間におよぶ教育実習は、私自身の成長にもつながりました。また、保護者の方への対応もさせていただき、保育者の仕事はこどもの関わりだけではないことも実感しました。安心してこどもを任せたいだけの信頼される保育者になりたいと強く思います。

舟山 由乃さんの
「教育実習」タイムスケジュール

7:45	出勤後、朝のミーティングと掃除
8:20	登園するこどもたちを挨拶で迎える
11:45	こどもたちと昼食の準備をして食事
13:00	園庭で自由に遊び、帰りの会へ
14:00	こどもたちの降園を見送った後、反省会
17:00	退勤。帰宅後に実習日誌の仕上げ



2023年3月卒業
舟山 由乃 さん
府中東
高等学校出身



教員
からの
Message



「保育の現場を知る」からスタートする実習体験

松倉 佳子 准教授

本学の大きな特長は、入学して2ヶ月後に隣接する宝仙学園幼稚園で行われる体験学習をはじめ、「保育の現場を知る」の授業や各種の実習を通して、こどもたちと多くふれあえることです。特に1年次の早い時期にこどもたちと直接ふれあう経験は、保育の魅力を見いだすきっかけにもなり、学びの意欲にもつながっていきます。また現場の先生方の姿を通し、保育者としての責任感や自覚が芽生えていきます。多くのこどもたちとの出会いを通して、こどもに寄り添う仕事のやりがいや楽しさを実感できることでしょう。

こどもたちとのふれあいが
学びの意欲につながる

- 1年次 保育の現場を知るⅠ・Ⅱ
- 2年次 保育の現場を知るⅢ・Ⅳ
- 3年次 保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
- 4年次 教育実習

実習サポート体制

実習を有意義な学びの場にするサポートを行います

本学では、貴重な学びの場である実習を最大限に活かせるよう支援体制を整えています。

実習先の資料や、これまで先輩たちが体験した実習内容などが閲覧できるほか、幼稚園教諭・保育士の資格や経験のある専任の実習指導スタッフが、実習に向けて必要な書類の準備や手続きなどをサポートします。

また、現場に必要な社会人としてのマナーや言葉遣い、身だしなみなどを指導しながら、実習に関するさまざまな相談に対応しています。担当教員と連携を取りながら、万全の状態での実習に臨めるよう、きめ細かくサポートを行います。

実習指導スタッフからのメッセージ

達成感と実りのある実習にしてもらうために

実習では学生も一人の社会人、先生として責任のある行動が求められます。挨拶などのマナーはもちろん、時間を守ること、提出期限を守ることなどを一つひとつ身につけていくことが必要です。私たち実習指導スタッフは、日頃から学生にとっての身近な窓口として具体的なアドバイスをすることがあります。また「実習がうまくできるだろうか」といった不安や、さまざまな心配ごとを少しでも解消できるようお手伝いします。それぞれの良さを発揮し、「こんな保育者になりたい」と目標をみつけれられるようにサポートしていきます。



実習指導スタッフ
藤崎 友恵 先生
村上 知子 先生

本学独自の 表現教育

表現教育を重視する宝仙では、『音楽』『造形』『身体』の3つの領域で独自の教育カリキュラムを展開。これらによって保育者として必要な力の習得はもちろん、学生自らの感性を引き出しながら表現する楽しさを学ぶことができます。

造形



造形表現担当
捧 公志朗 教授

子どもたちの創造性や感性を伸ばしていくことは、保育者にとって大切な仕事のひとつです。造形の授業では、身近な素材を使った制作活動を展開。再生紙によるコラージュを行ったり、新聞紙のオブジェを作るなど、安全性ややさしさを考える力も身につけていきます。実践で役立つ引き出しを増やし、子どもと一緒に楽しめる表現活動を学びましょう。

- 2年次 造形と表現
- 3年次 保育内容の指導法II



身近にある素材を使って造形表現の魅力にふれる



子ども教育に必要な力が
楽しみながら身につきます

造形活動は好きですが得意なほうではないので、創作意欲が薄れてしまうことがありました。しかし、宝仙の先生は得手不得手で作品を見るのではなく、こだわった部分や工夫した点を見てくださいます。頑張ったことに対して褒めてくださるので、それが自信につながり、今では造形の授業を楽しみにしています。授業では口に入れても安全な材料を使ったり、子どもたちが道具を使うときの注意点もしっかり学びます。多くの学びを通して、子どもたちの目線に立った造形活動が身につきました。

4年
埴田 聖蘭さん
茨城県・牛久
高等学校出身



身 体

のびのびからだを動かして身体運動を楽しく学ぶ



身体表現担当
宇佐美 かおる 教授

身体活動は、身体の発育だけでなく知性、社会性の発達にも大事な役割を果たします。身体表現については、子どもの発育・発達に応じた身体活動を学ぶさまざまなカリキュラムを用意しています。子どもの表現を受け止め理解するためにも、学生自らがのびのびとからだを動かし、楽しく身体活動を学ぶことにより、子どもの豊かな感性と表現を育む力を身につけ、学んでいきましょう。

- 1年次 身体と表現 健康スポーツ実技
- 3年次 障害児の発達と運動遊び
- 4年次 障害児の発達と運動遊び 身体遊び実践論

音 楽

音楽の楽しさを知り表現する喜びを分かち合う



音楽表現担当
葛西 健治 准教授

保育者に求められるのは、子どもたちの「歌いたい!」という気持ちに寄り添う音楽の実践力です。そのためにはまず、自らが音楽を楽しむことが大切です。表現する喜びの源は楽しむ心にあります。本学ではさまざまなカリキュラムを通して、子どもとともに喜びを分かち合う音楽表現を学びます。ピアノ指導は習熟度別に行われるので、未経験者の方も安心してください。

- 1年次 音楽と表現I 音楽実技I
- 2年次 音楽実技II 音楽と表現II
- 3年次 歌遊び リトミック 音楽遊び
- 4年次 歌遊び リトミック

学生一人ひとりが望む、卒業後の進路に向けて

保育者と言っても、保育所や幼稚園、福祉施設など、その活躍の場はさまざま。それぞれの学生がめざす道に進めるよう、教員や職員が一体となってサポートしています。

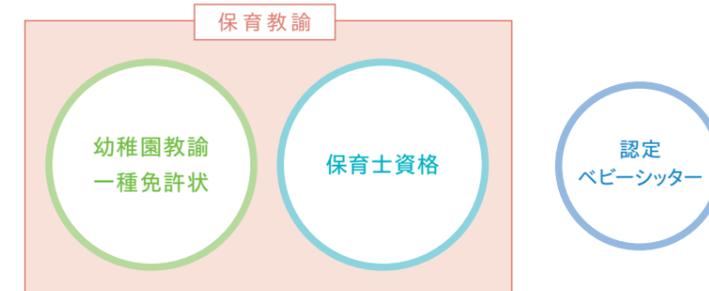


実習・キャリアサポートセンター

保育者をめざす学生のキャリアは、学内での学びを土台としつつ保育現場での実習での学びを積み重ねることで形成されています。そのため本学では、実習での学びと保育者としてのキャリア形成を連続的に支援する「実習・キャリアサポートセンター」を設置しています。センターには就職に役立つさまざまな資料を備え、スタッフが学生一人ひとりの希望や適性に応じてめざす進路に向かえるようにきめ細かくサポートしていきます。

宝仙で取得できる免許・資格

卒業と同時に幼稚園と保育所において、保育職につくために必要な2つの免許・資格を取得。これらの免許・資格を有することで、幼保連携型認定こども園で「保育教諭」として働くこともできます。さらに本学では、公益社団法人全国保育サービス協会が認定する「認定ベビーシッター」資格も取得できます。



宝仙のキャリアサポート

大学時代は、キャリアの土台づくりの時間です。本学へ入学した学生の多くは、幼児教育・保育の専門家として、幼稚園教諭や保育士、あるいは福祉施設の職員となることをめざしますが、そのために大切なことは、自分の将来の目標に向けて、4年間で何をやっていくのか、自分がデザインし、実践していくことにあります。

本学では、1年次より保育現場での実習体験を重ね、こどもと関わる保育者という仕事への理解を深めていきます。また、社会で働くことの意義、自分のやりたいこと、具体的な就職への道を考え、自分の未来設計に向かって積極的に進んでいけるよう、キャリアデザインをサポートしています。

毎年高い就職内定率を誇る宝仙では、あらゆる分野の教員が学生一人ひとりの就職活動をサポート。希望や適性を重んじながら最善の進路に進めるよう、1年次よりめざす進路を見極めたキャリアデザイン・プログラムが用意されています。

担当者からの Message



学生の夢実現のサポーターとして

実習・キャリアサポートセンター 副センター長 吾妻 昇

実習・キャリアサポートセンターでは、学生が自分の適性を知り、自分らしくやりがいを持って活躍できる場に進んでいくためのさまざまな支援を行っています。1年次から4年次までの学びの段階に応じたガイダンスを準備しており、実習から就職までトータルサポートを行っています。学生との面談を通じてそれぞれの異なる課題や不安にきめ細かくサポートできる体制を整えています。一人ひとりの学生の志向に合った悔いのない進路選択ができるよう、全力でサポートを行ってまいります。

4年間の学びに沿った
キャリアデザイン・
プログラム

学生たちの将来に向けての活動を、4年間の「キャリア教育」、現場での「実習経験」、そして「就職サポート」の3つの側面から支えるキャリアデザイン・プログラムを組み、これまでの対面でのサポートに加え、随時オンラインでのサポートも行い、キャリアを育てる環境を整えています。

ステップ	プログラム	キャリア教育	実習経験	就職サポート
1 年次	こどものことを考える 大学生になろう 保育者の資格取得をめざし、保育や施設の現場で積極的にこどもと関わって学ぶ経験をサポートします。	キャリアガイダンス •大学生活とキャリア形成 •保育の仕事とは •宝仙生のキャリア形成を知ろう など	こどもたちとの関わりを深める実習体験を重視しています。また、現場で得られる経験を活かせるよう、保育や福祉の施設でのボランティア活動を支援しています。	就職活動では自分にあった将来を見つけられるよう、一人ひとりの学生と面談し、向きあいながら、納得のいくゴールをめざします。
2 年次	実習生として社会に出よう 実習を意識し、保育者の資格を活かして多様な職場で働く経験に目を向け、学びや課外での経験に主体的に取り組んでいきます。	キャリアガイダンス •キャリアサポート体制について •保育現場での学び ①先輩に聞いてみよう •保育現場での学び ②現場の先生に聞いてみよう •社会人としてのマナーを知る など	保育の現場を知る I・II	就職対策講座 •総合基礎領域「職業と社会」 •公務員試験対策講座・模擬試験(全6回 有料)
3 年次	社会人としての 一歩を踏み出そう 実習経験を通して進路に目を向け、就職を意識した学びや経験を積み重ねながら、進路や就職志望先を絞り込んでいきます。	キャリアガイダンス •就職活動にむけて •社会人としてのマナーを知る •自分の未来をイメージする卒業生に聞いてみよう •公務員を知ろう 内定者との座談会 など	保育の現場を知る III・IV	就職対策講座 •総合基礎領域「職業と社会」 •公務員試験対策講座(全6回 有料)・模擬試験
4 年次	社会に資する 人間になろう 進路を決め就職するために、準備・情報収集して就職活動を円滑に進められるよう、個別の相談にきめ細かく対応しサポートします。	キャリアガイダンス •就職活動の心がまえ •就職活動の進め方 求人票の見方・履歴書の書き方 •就職活動をはじめよう 職種選び方・施設見学のポイント •社会人としてのマナーを知る •自分らしく働くにはより良い職場選択のために •就職活動をスムーズに進めよう 履歴書の仕上げ・面接の心がまえ •内定後のすこし方 など	保育実習 I・II・III	就職対策講座 •総合基礎領域「職業と社会」・模擬試験
			教育実習	就職対策講座 •総合基礎領域「職業と社会」・模擬試験
				進路キャリアサポート •進路希望調査 •個別相談 •公務員採用試験対策 •面接対策講座 •東京新卒応援ハローワーク・ジョブサポート •進路個人面談

公務員の保育者になるためのサポートも万全

公務員の保育者になるための
サポート制度

公務員の保育者をめざす学生に向けて、「公務員試験対策講座」を1年次から開催しています。また、採用内定者の体験談を聴くガイダンスや採用試験の詳しい仕組みなどについて説明するガイダンスなど情報提供の機会も幅広く提供しています。さらに、採用試験に臨む4年生の学生には筆記試験対策のほか、面接対策講座を開設しています。志望の自治体に応じた個別の面接対策も行い、希望する進路の実現に向けてきめ細かくサポートしています。

データでわかる、確かな就職実績

こども教育宝仙大学では毎年、卒業していく学生のほとんどが希望する進路へ就職。寄せられる求人の数は、優れた人材を輩出してきた信頼の証でもあります。

進路状況

こども教育宝仙大学は、90年以上にわたる幼児教育・保育者養成の歴史に支えられた高い就職率を保持する大学です。卒業生のほとんどが幼稚園や保育所、さらには認定こども園、児童福祉施設、幼児関連商品等を扱う民間企業など、こどもに関わるさまざまな仕事に就いています。

保育の現場で活躍する卒業生の評価も高く、応えきれないほどの求人票が大学に集まり、2022年度は幼稚園、保育所からの求人数は約1,500件、学生一人あたりの求人数は約15件にのぼりました。

将来、幼児教育者や保育者をめざす皆さんにとって、宝仙生が築いてきた信頼とネットワークは、確実に就職の夢をかなえるための大きな支えとなるはずです。

学生一人あたりの
求人数
2022年度実績

約15件

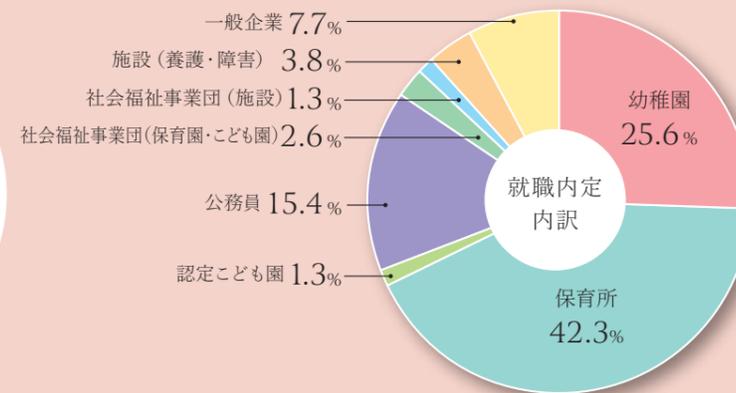
就職内定率

2022年度卒業生
2023年2月24日現在

就職内定率

100%

*就職内定者数/就職希望者数



主な就職先 2022年度 卒業生

幼稚園	東京都 町田自然幼稚園／田無向ヶ丘幼稚園／やはたみずのとう幼稚園／めぐみ幼稚園／洗足うさぎ幼稚園／大和富士幼稚園／朋愛幼稚園／秋川文化幼稚園／笹塚幼稚園／藤幼稚園／やはた幼稚園／調布たちばな幼稚園／中野たから幼稚園／上ノ原幼稚園	認定こども園	東京都 東村山むさしの認定こども園
神奈川県 柿の実幼稚園／富士幼稚園／荏田南幼稚園		公務員・社会福祉事業団	東京都 渋谷区職員(福祉)保育士／新宿区福祉II類／大田区職員(保育士)／港区職員(保育士)／文京区職員(保育士)／渋谷区社会福祉事業団／東京都福祉事業団
埼玉県 籠原若竹幼稚園／けやき幼稚園		企業立保育所	東京都 HITOWA キッズライフ 太陽の子保育園／ジール・チャイルドケア(株) Baby Home／ライクキッズ株式会社にじいる保育園／株式会社アンジェリカ豊玉北えほん保育園
千葉県 真間山幼稚園		その他施設	東京都 滝乃川学園／むらさき愛育園／母子生活支援施設ベタニアホーム
保育所	東京都 あきみ保育園／社会福祉法人清遊の家／社会福祉法人東京児童協会／獅子吼保育園／光徳保育園／祖師谷わかば保育園／貫井保育園／かすみ台保育園／まつぼっくり保育園／練馬二葉保育園／成城つくしんぼ保育園／杉並たかいどいちご保育園／草花保育園／亀戸浅間保育園／こぶし保育園／すこやか園(ソウ)／立川柴崎保育園／愛星保育園／小岩みどり保育園／アルテ子どもと木幼児園	一般企業	東京都 株式会社就職情報ネットワーク／株式会社ウィルオブ・コンストラクション／株式会社エスシーグループ／株式会社夢真
神奈川県 すこやか溝口保育園			
埼玉県 社会福祉法人あゆみの会／太陽園			
千葉県 こすもす保育園／アンデルセン保育園			

内定者の声

先生や友人たちに支えられ、晴れて公務員試験に合格

公務員

内定先

文京区職員(保育士)

周囲から勧められて、公務員試験にチャレンジ。でもなかなか試験勉強が手につかず、面接でうまく話せるかなど試験当日まで不安でいっぱいでした。そんなとき支えになってくださったのが先生方です。自分らしく面接できるよう何度も練習をしていただき、たくさん相談に乗っていただいたことで背中を押された気持ちになりました。実際に公務員になった先輩から試験対策を聞いたこともよかったです。宝仙は先生との距離が近い大学です。小さな相談事でも親身に応えてくださいますし、さらに同じ夢をもつ友人とともに励まし合えるので、どんな困難も乗り越えられると思います。



2023年3月卒業
古賀 遥圭さん
板橋有徳
高等学校出身



2023年3月卒業
佐藤 桃香さん
神奈川県・緑ヶ丘女子
高等学校出身

先生と二人三脚で試験に備え、憧れの幼稚園教諭に

幼稚園

内定先

学校法人森井学園 富士幼稚園

2年次の頃から就職活動を始めましたが、自分の興味やめざす保育者像、福利厚生などを考えるうちに迷いが生じるように。志望先を絞り込めずに苦労しましたが、多くの園を知る機会にもなったので、たくさん悩んでよかったと思っています。就職試験に向けては、先生に履歴書の添削や面接の練習をしていただきました。そのおかげでどんな角度からの質問にも落ち着いて答えることができました。幼少期から憧れていた保育の世界に飛び込むのは今からとても楽しみです。こどもの可能性を引き出しながら、一人ひとりの自信や個性を伸ばしていける幼稚園教諭になります。

試験に向けたサポートのおかげで第一志望の保育園へ

保育所

内定先

アルテ子どもと木幼稚園

私が内定をいただいたのは、アルバイトをしている保育園です。ゼミの先生に紹介していただいた園がとても雰囲気よく、ここに就職できたらいいなと思っていたのですが、あいにく募集枠がなく諦めていました。そこで他の志望先を探していた矢先、募集がかかることになり応募できることに。どうしても内定をいただきたいので、ゼミの先生にいろいろ相談をしました。履歴書の添削から面接対策まで、たくさん時間を割いていただいたおかげで落ち着いた気持ちで試験にのぞめ、無事内定をいただきました。春から正規の保育士として働けることが今から楽しみです。



2023年3月卒業
高野 歩海さん
杉並総合
高等学校出身

保育現場で活躍する卒業生の今

保育をじっくり学べた4年間。実践で困ることはありません

就職先

学校法人宝仙学園 宝仙学園幼稚園



2017年3月卒業
染谷 優奈さん
埼玉県・川口
高等学校出身

この大学を選んだのは、4年間じっくりと保育を学びたかったからです。少人数教育も魅力で、先生方は学生のことをきちんと覚えてくださいますし、質問や相談も気軽にできました。期待どおり保育の知識をまんべんなく学べ、現場で働きはじめてからも困ったという経験はありません。

とくにリトミックの授業は実践でかなり活かされています。指導者は子どもたちに「こんなふうに真似してみよう」と教えてしまいがちですが、子どもたちの感じるままに音楽とあわせて身体を動かす楽しさを知ってもらうほうが大切。そのためには保育者自身が楽しむことの必要性を学びました。

この幼稚園の先生は宝仙出身者も多く、同じカリキュラムのもとで学んできたので、お互いよくわかりあえます。先生方や子どもたちからいろいろなものを吸収し、保育者としてもっと成長していきたいです。



保育者は日々、喜びが感じられる仕事です

就職先

社会福祉法人 青柳保育会 七海保育園

保育園で3才児クラスの担任をしています。こどもたちの成長を日々間近で見られる保育の仕事はとてもやりがいのある仕事です。社会人になって間もない頃は経験不足から戸惑うこともありましたが、長く続けていればいるほど楽しさが増してきます。とくに、こどもの愛着関係や保護者との信頼関係が築けたときは保育士になって本当によかったと思います。

宝仙で学んだことは保育の現場でもしっかりと活かされています。表現教育での歌遊びや制作活動はもちろん、パソコン作業も一通り授業で学んでいたのも、クラスのお便りづくりなども難なくこなしています。



また、体験学習や実習でいろいろな保育園や幼稚園、施設に行ったこともとても有意義でした。多様な保育現場を見ることで、自分のめざす方向も見えてきます。一人ひとりへのサポートが手厚い宝仙で、ぜひ自分のめざす保育者像を見つけてみてください。



2017年3月卒業
中脇 泉さん
昭和第一学園
高等学校出身

安心して充実した学生生活を送るために

一人ひとりが有意義で楽しい学生生活を送れるよう、さまざまな側面からバックアップ。在学中はもちろん、就職してからも宝仙の卒業生としてのサポートは終わりません。



アドバイザー

大学では高校までとは違って、クラスに分かれて担任の先生から学習や生活上のことなど細かい指導や援助が与えられることはありません。基本的には学生自らの判断で行動することになります。しかし、大学生活のさまざまな場面で、アドバイスが必要になることもあります。そこで、本学においては、1年次から4年次までの必修ゼミ科目を担当する専任教員が、そのゼミに所属する学生のアドバイザーになります。アドバイザーは、ゼミの授業担当者という役割だけではなく、下記のような修学上の問題をはじめ、学生生活全般にわたる指導・助言を行います。

- 1 修学上の質問や相談に対応する
- 2 友人関係など学生生活における悩みや相談に対応する
- 3 相談内容によって学生相談室、保健室、キャリアサポートなど他の学生支援組織と連携する
- 4 履修相談などを行う

オフィスアワー

学生が修学上の質問や悩みを専任教員に相談したり指導を受けたりするための時間を「オフィスアワー」と称し、教員は毎週授業2コマ分に相当する時間をこれに充てています。各学期のはじめにアドバイザーとなる教員のメールアドレスが提示され、メールによる相談の予約をすることができます。

図書館のサポート

こども教育宝仙大学図書館はこども教育の専門図書館で、幼児教育の現場で必要となる絵本や紙芝居から映像資料にいたるまでを完備。こどもの心を育てるために必要な書籍や資料が豊富に備えられており、さまざまな情報収集や閲覧のほか、専門スタッフがこどもの年齢にあわせた絵本や教材選びなど、様々な相談にも対応します。保育実習、教育実習にも役立ち、幅広く活用できます。また、図書館の空いている時間を使って楽しいイベントも開催されており、学生にとっての憩いの場にもなっています。

卒業後のサポート

在学生のための就職サポートはもちろん、本学を卒業したOB・OGのためのサポートも実施。転職や再就職に向けた就職相談や求人情報の提供をキャリアサポートセンターで行っているほか、さらなる見聞を深めるために図書館・図書閲覧室も自由に利用することができます。また、OB・OG同士の交流の場として「あかつき会」があり、現在約8,300名の会員を有しています。

奨学金

こども教育宝仙大学奨学制度

本学では建学の精神に基づき学業、人物ともに優秀な学生や、経済的支援を必要とする学生に対して、その学修および意欲的な学生生活を奨励することを目的とし、こども教育宝仙大学奨学制度を設けています。

返済義務のない「給付型」の奨学金制度です

■ 応募資格(次のいずれかの学生)

1. 学業成績が優秀で、将来教職・保育職に就くことを志望する学生
2. 大学の活動に積極的に参加し、学業および生活面において他の模範になる学生
3. 経済的支援を必要とする学生

■ 給付額

採用された学生に対して、年間授業料(80万円)の範囲内で給付します。

最大80万円の範囲内
(年間授業料の範囲)

「高等教育の修学支援新制度」について

本学は文部科学省の「高等教育の修学支援新制度の対象機関(確認大学等)」となっており、家計および成績要件を満たした学生は、申請の上、給付型奨学金及び授業料減免を受けることができます。

日本学生支援機構奨学金について

第一種と第二種があります。第一種は高校2~3年の成績平均値が3.5以上の者(大学2~4年生は成績が学部内上位3分の1以内)に無利息で貸与されます。第二種は学業成績が平均水準以上の者に卒業後年率3%を上限とした利息付で貸与されます。

貸与期間

採用になった学年から卒業までの最短修学期間。ただし、年度ごとに適格認定審査が行われます。

返 還

貸与終了から6ヶ月経過後、所定の期間内に月賦、あるいは月賦と半年賦との併用にて返還していきます。

緊急・応急採用奨学金について

現下の厳しい経済状況等を考慮し、保護者の失職、破産、会社の倒産、病気、死亡等又は火災、風水害等による家計急変のため、緊急に奨学金の貸与の必要が生じた場合は、奨学生として採用します。

■ 奨学金の種類と貸与月額について

第一種奨学金無利息 | 自 宅 2万円 ~5万4千円から選択
自 宅 外 2万円 ~6万4千円から選択

第二種奨学金利息付 | 2万円~12万円(1万円単位)から選択
(年利率3%を限度)

学内外の奨学金制度を在学生の約40%が
利用しています(2023年1月末現在)。

2020年5月に 「学生生活支援センター」を開設

奨学金・授業料等に関する経済的支援の相談を受付けています。2020年5月にコロナ禍の学生を支援する目的で「学生生活支援センター」を開設しました。

担当者
からの
Message



経済的支援を必要としている学生をしっかり支えたい

教務・学生課 課長 池田 そよか

経済的に困難な状況を抱えながら、学業生活と家庭支援の両立に奮闘している学生は少なくありません。一方で本学には独自の給付奨学金および「高等教育の修学支援新制度」があります。学業成績優秀で真に経済的に支援を必要とする学生たちが、困難な状況を乗り越え、より高いモチベーションをもってしっかりと学業生活に取り組んでいただけるよう、支援を続けていきたいと思っています。



Event & Circle

学び、仲間と過ごす充実した4年間があります。春は多くの新生を迎え、秋は宝仙祭でにぎわいます。

4 April

- 入学式
- オリエンテーション
- 新入生歓迎会
- 降誕会・花まつり
- 健康診断

5 May

- 教育実習
- 2年体験学習III

6 June

- 教育実習
- 保育実習I(施設)
- 両大師祭
- 創立者忌日法要
- 1年体験学習I
- 2年体験学習III

7 July

- 海外保育教育実習
- 保育実習I(施設)
- 2年体験学習III
- ペアレンツデー
- 卒業生の集い

8 August

- 夏季休業
- 保育実習I(施設)

9 September

- 海外保育教育実習
- 保育実習I(施設)
- 地域文化体験

10 October

- 宝仙祭
- 開学記念日

11 November

- 図書館講演会
- 保育実習II(保育所)
- 保育実習III(施設)
- 1年体験学習II
- 2年体験学習IV

12 December

- 冬季休業
- 成道会
- 避難訓練
- 1年体験学習II
- 保育実習II(保育所)
- 保育実習III(施設)

1 January

- 保育実習I(保育所)

2 February

- 春季休業
- 保育実習I(保育所)
- 国外保育体験
- オーストラリア海外
 保育留学(12月帰国)

3 March

- 卒業研究発表会
- 学位記授与式
- オリエンテーション
- 保育実習I(保育所)

(2023年度学事予定)

宝仙祭

宝仙祭は宝仙学園の幼稚園から大学までの全部門で同時開催されます。大学では各ゼミの調査・研究の発表や、ダンス、軽音楽、児童文化研究などサークルのパフォーマンスを披露しています。また、模擬店や人形劇など、幼稚園児や小学生たちとの交流も多く見られます。近年は実施形式が異なり、オンラインを主とした宝仙祭を開催していますが、昨年度は一部対面で実施することができました。絵本の紹介や音楽劇などの各ゼミによる発表の他、軽音サークルによるパフォーマンスなど、多くの方々にご覧いただいています。



サークル

文化系・スポーツ系の各サークルでは、それぞれが積極的な活動を展開。仲間と力をあわせる喜びの中から、一人ひとりが協調の精神を学んでいます。5名以上でサークルが新設できます。

にこにこポロンズ



人形劇を中心とした発表を行い、こどもにとっての文化について研究をするサークルです。学外での公演など、前身の短期大学から続く伝統あるサークルです。

四ツ葉クラブ



児童養護施設のこどもたちに寄り添いながら、楽しく遊ぶボランティアサークルです。東京都社会福祉大会で表彰を受けるなど、伝統と実績のあるサークルです。一緒にこどもたちと遊びましょう。

ダンスサークル Ciel



「ciel(=空)」のように、一人ひとりがそれぞれの表情を出して楽しく活動しているダンスサークルです。ストレッチや軽い筋トレを交えながら、メインイベントである宝仙祭に向けて練習に励んでいます。

ばどみんとん



基礎打ちやシングルス、ダブルスに分かれての試合など、バドミントンを通して日々親睦を深めています。スポーツが好きな人、ストレスを発散したい人はぜひ参加してください。

うたコミュニケーションサークル



おもに歌、楽器をメインに活動するサークルです。他学年との交流も活発に行われています。毎年秋に行われる宝仙祭での発表に焦点を置き、練習に励んでいます！

軽音サークル



複数のロック系音楽バンドが集まり、音楽演習室を使って活発な活動を行っています。恒例の宝仙祭ライブでは、毎回迫力のあるステージを披露できるよう練習を重ねています。



ピアノレッスン室 1号館
グループ、または個人指導による細やかな音楽演習授業が行われています。



131教室 1号館
全体授業や各種オリエンテーションを行う講義室です。



5号館・学生ホール 5号館
宝仙 commons 1階の学生ホールは明るく、学生の語らいの場として人気のスポットです。



パソコン演習室 4号館
「情報処理演習」や、CALLシステムによる語学授業の教室です。

宝仙学園幼稚園
宝仙学園幼稚園が隣接しているので、いつも元気な子どもたちと出会えます。



1号館・学生ホール 1号館
授業の準備、友人同士での語りなど、多目的に使用される学生ホールです。



音楽演習室 1号館
「音楽実技」など、さまざまな音楽教育に対応した演習室です。



多目的室 5号館
サークルの打ち合わせや、パソコンを活用しての情報検索など、多目的に利用されています。

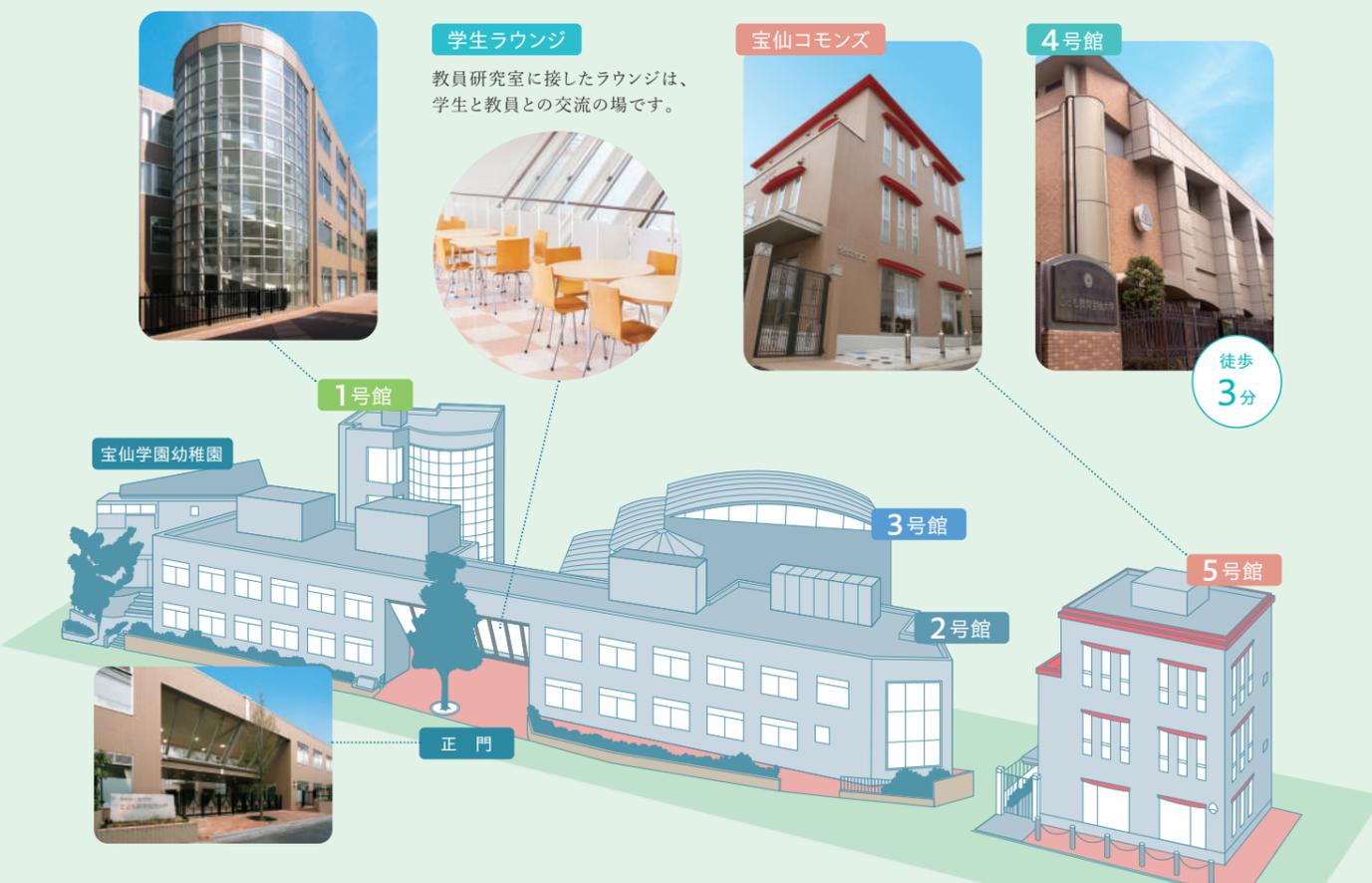


Campus Map

[施設紹介]

通学にも学びにも最適!

宝仙のキャンパスってこんなところ



中野坂上駅から徒歩8分!
周辺は静かで落ち着いた環境です

東京メトロ丸ノ内線と都営地下鉄大江戸線の2線が乗り入れる中野坂上。高層ビルが並ぶ駅前には美味しいお店もいっぱいあります。また、千年近くの歴史をもつ宝仙寺があり、都心にいながら落ち着いた雰囲気を感じられます。私たちにためのパワースポットにもなっています。

新宿から
電 車 徒歩
15分



キッチンカーがランチタイムにやってきました!



ランチタイムにワンコインで楽しめるキッチンカーが定期的にやってきました。クレープ、ライスバーガー、からあげ弁当、ケバブなどバラエティーにとんだメニューで学生たちから大人気です。



図書館 3号館
幼児教育、保育を中心とした約5万冊の蔵書をもつ図書館。フロアを分け、閲覧室を併設しています。



絵本サロン 3号館
絵本のみを展示した閲覧室。昼食スペース・多目的ラーニングスペースとしても利用されています。

332教室 3号館
宝仙寺を臨む3号館最上階にあり、講義系の科目を中心に使用されている階段教室です。



造形演習室 3号館
絵画や版画、木工や粘土造形まで、多様な造形制作を行う演習室です。

体育館 4号館
授業から学校行事まで、大学生生活のさまざまな場面において活用されています。



宝仙食堂・学生ラウンジ 宝仙ホール
学園キャンパス内にある「宝仙食堂」は、いつもにぎやかで、楽しい会話が飛び交っています。

愛川グラウンド 神奈川県
宝仙寺からバスで移動。グラウンドでは1日中、球技やゲームを楽しめます。



90年の歴史と伝統

長い歴史と伝統の中で、
幼児教育の発展に
貢献し続ける宝仙学園



1935(昭和10)年、こども教育宝仙大学の前身となる

「仏教保育協会保母養成所」が設立されました。

その長い歴史の中で、多くの優秀な卒業生を
幼児教育・保育の現場に送り出しています。



感応幼稚園の
2階に開設された
仏教保育協会保母
養成所

Hosen History

- 1927 ・感応幼稚園を設立(現・宝仙学園幼稚園)
- 1928 ・中野高等女学校を設立
- 1935 ・仏教保育協会保母養成所を設立
・感応幼稚園を実習園とする
- 1951 ・宝仙学園短期大学保育科を設立
- 1954 ・校友会設立、児童文化研究部を発足、現在に至る
- 1964 ・宝仙学園短期大学生活芸術科を設立
- 1967 ・専攻科保育専攻を設置
- 1969 ・児童文化研究部が御所において皇太子(現・上皇)の第二皇子秋篠宮三才誕生日に人形劇公演を行う。以後昭和47年まで続く
- 1974 ・保育科が富山県南砺市において「利賀村移動授業」を開始
- 1976 ・卒業生現職保育者による劇団「ザ・ほっぴい」を結成、海外巡回公演を開始。
- 1978 ・学園創立50周年記念式典を挙げる
- 1981 ・中野文化センターにおいて「表現教育作品発表会」を開催
- 1988 ・保育科が「韓国保育研修」を開始
- 1996 ・専攻科保育専攻において児童厚生一級指導員の養成を開始
・児童文化研究部が韓国において特別公演
- 2000 ・児童施設でボランティア活動が続ける校友会「四ツ葉クラブ」が東京都社会福祉大会において表彰される
- 2005 ・「利賀村移動授業」が文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム」(特色GP)に選定
- 2007 ・「韓国保育研修」が文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム」(特色GP)に選定
- 2009 ●こども教育宝仙大学 こども教育学部 幼児教育学科を設置
・第1回「図書館講演会」を開催
- 2010 ・課外プログラム「利賀村研修」を開始
- 2011 ・第1回「こども学・区民公開講座」を開催
- 2012 ・東北再生「私大ネット36」に参加
- 2013 ・第1回「学位記授与式」を挙げる
- 2014 ・課外プログラム「オーストラリア幼児教育・保育体験及び英語研修」を開始
・地域子育て支援室が「子育てひろば」を開始
- 2015 ・大学5号館(宝仙 commons)が完成
・オーストラリアの imagine EDUCATION AUSTRALIA と姉妹校協定を締結
- 2016 ・「宝仙マイスター制度」がスタート
・地域子育て支援室「ぶちとまと」を開催
- 2018 ・学園創立90周年記念式典を挙げる
・「こども教育HOSEN WAYプロジェクト」がスタート
・「HOSENこどもフェスティバル」を開催
- 2019 ・大学開学10周年記念「HOSENホームカミングデー」を開催
- 2020 ・学外教育プログラム「国外保育体験」「地域文化体験」がスタート
- 2022 ・オーストラリアでの「保育留学制度」がスタート



理事長メッセージ

「人を造る」教育

学校法人宝仙学園 理事長
富田 道生

宝仙学園は1927(昭和2)年、宝仙寺第50世住職富田敦純大僧正によって創立され、「人を造る」教育として「宇宙人格」を標榜しました。宇宙人格とは、人智を超えるおおいなるいのちの存在を感得することにより育まれる、心豊かな人格を意味します。宝仙学園はそうした理念に基づき、一人ひとりの個性を大切に、それを伸ばしていく「人間教育」を実践してきました。そして大学が行っている「こども教育」は、幼児教育・保育の世界にとどまらず、広く社会全般を見つめ、

つねに時代と対峙し、いまを生きる人間の育成をめざしています。短期大学時代から、これまで6千名を超える卒業生が全国の幼稚園・保育所で活躍し、築き上げてきた実績とネットワークは「宝仙」の名を広く知らしめ、社会的に高い評価を得ています。

本学への入学を希望する皆さんには、伝統ある「宝仙の教育」を受け継ぐとともに、新たに研究・開発された教育プログラムにより、充実した4年間を過ごして欲しいと願っています。

建学の精神

こども教育宝仙大学は、「仏教精神を基調とした人間教育によって品格と知性を兼ね備えた人を造る」ことを建学の精神としています。学園創立以来90年以上にわたり、「真の教育とは単に知識や技術を植え付けるものではなく、それらを自らの人生に活かす『知恵』とすることに他ならない」という創立者の信念に基づき、一貫して少人数制教育を堅持し、人間的なふれあいと個性を大切に守り育てる教育を継承しています。また、21世紀における高等教育機関にふさわしい大学として、情操豊かで、高い専門性を培った「人を造る」教育を実践しています。仏教精神に基づく慈悲・敬虔・感謝・奉仕の心に満ちた豊かな人格の育成とともに、幼児教育・保育・児童福祉等の専門的知識や技術を修得し、高次元倫理観と教養を備え、広い視野に立った判断力をもって、社会に貢献し得る人材を育てていきます。

大学の基本理念

本学は、教育基本法及び学校教育法の定めるところに従い、仏教精神に基づく人格の陶冶及び専門の学術を教授研究することにより、社会の発展に貢献し得る教養ある職業人を育成することを目的とする。

保育者になるために 宝仙が選ばれるのには、 理由があります



こども教育宝仙大学
学長
太田 誠一

こどもたちの気持ちに寄り添いながら、さまざまな力を引き出して育てていく、保育者の仕事は感動と喜びの毎日。こどもたちと一緒に成長できるのも大きな魅力です。資格が必要なため、就職難にも強く、また人間でなければできないため、AI・ロボット時代になっても長く働ける有望な仕事です。

学生全員が同じ道をめざしている本学では、ともに協力しながら学びを深めています。実践教育と寄り添う教育には力を入れており、独自の教育プロジェクト「こども教育 HOSEN WAY」と、「きめ細かい実習指導」については、日本高等教育評価機構より「優れた点」との評価をいただきました。

グローバル時代に対応した教育を行っていることも本学の長所です。これまでのオーストラリア保育体験プログラムを発展させ、在籍しながらチャレンジできる保育留学制度も導入。幼稚園教諭一種免許状、保育士資格に加え、オーストラリアでの保育者の資格も取得できるようになりました。こうした取り組みと90年におよぶ保育の実績から、保育職への就職率は毎年全国トップレベルを誇っています。なかには親子二代で本学を卒業し、保育者として長く活躍されている先輩方もいらっしゃいます。

本学の長所はこれらの充実した学びだけではありません。少人数制で先輩後輩とのコミュニケーションも活発なうえ、教員との距離も近く、校風はじつにアットホーム。授業や実習、大学生活など、どんな些細なことでも相談できる環境が整っています。また、サークル活動や宝仙祭など学生生活を満喫できる場もたくさんあります。

ぜひ、皆さんが思い描く夢を、こども教育宝仙大学で叶えてください。教職員全員、全力でサポートします。このキャンパスで皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。

ディプロマ・ポリシー ～本学が育成をめざす人材～

- 1 人間性豊かで社会性に富み、他者との円滑なコミュニケーションができる。
- 2 あふれる情報と多様化した社会の中で、変化に即した判断ができる。
- 3 専門知識や技法を適切に駆使でき、絶えずそれを向上させようと努力することができる。

アドミッション・ポリシー

こども教育宝仙大学は、建学の精神と基本理念を理解し、幼児教育や保育を学ぶ強い意欲があり、本学の教育課程で身につけた能力を社会で生かそうという人を求めます。

- 1 広く豊かな教養を身につけられるよう、高等学校などにおいて、各教科への関心を保持していることが望まれます。
- 2 表現系の教科(音楽・美術・体育など)についての基礎的な素養とそのいづれかについての積極的な関心が求められます。
- 3 日本語の文章力、およびコミュニケーション力が求められます。



本学は令和2(2020)年度に公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審し、「大学評価基準に適合している」と認定されました。

学生達の学びをさらに充実していくために。
2018年度より新たな取り組みがスタートしました。

こども教育

HOSEN WAY

こども教育
HOSEN
WAY

これまで行ってきた保育者養成としての教育をより一層深化させ、「実践教育を徹底し、優れた保育者を育てる」「一人ひとりに寄り添い、優れた保育者を育てる」「90年の信頼(保育の宝仙)を受け継ぎ、優れた保育者を育てる」とする3つのビジョンにより、「こども教育 HOSEN WAY」を確立してきました。そして2021年度からは更に質の高い学びをめざして、「こども教育 HOSEN WAY II」をスタートしました。

日本高等教育評価機構による
令和2年度大学認証評価

こども教育 HOSEN WAY プロジェクトに対し、全教職員で取り組んでいることは、大学の使命・目的等を果たす上で、「優れた点」として評価されました。

HOSEN WAY 1 実践教育の徹底

- 「実践教育推進フォーラム」の創設
- 「カリキュラム研究フォーラム」の創設
- 保育現場における学習機会の充実
- 「社会人基礎力向上のための教育」の推進
- 「履修カルテ」運用システムの充実
- 実践に必要な知識や技術を丁寧に伝えるステップアップ指導
- 「HOSEN マイスタープログラム」の推進
- アクティブラーニングによる「考えや意見を尊重し合う授業」の推進
- 「保育留学制度」の推進
- 宝仙学園幼稚園との教育連携の推進



「HOSEN マイスタープログラム」の推進



宝仙学園幼稚園との教育連携の推進

HOSEN WAY 2 一人ひとりに寄り添う教育



「学生の自律をうながす教育」の推進



丁寧な個別指導の推進

- 「学生サービス推進フォーラム」の創設
- 「学生の自律をうながす教育」の推進
- 授業TA制度の推進
- 学生支援に関する学内システムの向上
- 学びやすい教育環境づくりの推進
- 丁寧な個別指導の推進
- 初年次教育の推進
- 学食システムの充実
- 大学図書館のリニューアルの推進
- 大学事務部における「学生ファースト」の充実

HOSEN WAY 3 「保育の宝仙」への信頼

- 保育業界と大学が連携する「HOSEN 保育フォーラム」の創設
- あかつき会との連携強化の推進
- 「建学の精神」推進の取り組み
- 「保育の宝仙」推進プログラムの展開
- こども文化事業の創出(「HOSEN こどもフェスティバル」)
- 卒業生に向けた「保育の学び」支援
- 「保育の学び」高大接続プログラムの推進
- 中野区との保育・子育て支援活動の推進
- 地域連携・社会貢献活動の推進
- 「こども教育研究センター」の推進



こども文化事業の創出(「HOSEN こどもフェスティバル」)



あかつき会との連携強化の推進

専任教員メッセージ

実績豊富な教員たちを紹介します。
つねに学生に寄り添いながら、
一人ひとりの夢の実現へ向けてサポートしていきます。
グローバル時代に対応した幼児教育・保育のプロを育てます。



家族を知り、社会を知り、
保育を学んで、豊かな人生を。

太田 誠一 教授 OTA Seiichi

専門分野 民法・家族法

担当科目 職業と社会、宝仙の歴史、宝仙の教育



こどもの心とからだを理解し、
ともに遊びましょう。

宇佐美 かおる 教授 USAMI Kaoru

専門分野 身体運動学・健康教育

担当科目 こどもの保健、こどもの健康と安全、保育内容(健康)、保育実習I(施設)、保育実習II(施設)事前事後指導、基礎ゼミ、専門研究ゼミII、保育の現場を知るIV



保育者とこどもの未来を
語り合おう。

利根川 彰博 准教授 TONEGAWA Akihiro

専門分野 子ども学、保育学

担当科目 教育実習、教育実習事前事後指導、保育実習I(保育所)、保育実習II(保育所)事前事後指導、保育実習III(保育所)、保育実習IV(保育所)事前事後指導、保育の現場を知るI、基礎ゼミ、保育カリキュラム論、専門研究ゼミI、地域社会とこども家庭福祉、保育・教職実践演習(幼)



こどもの日々の笑顔を支える
確かな土台をつくる。

松倉 佳子 准教授 MATSUKURA Yoshiko

専門分野 社会福祉

担当科目 こども家庭福祉、社会福祉、子育て支援論、保育実習I(施設)、保育実習II(施設)事前事後指導、保育実践演習、専門研究ゼミI、保育の現場を知るII、保育実習III(施設)、保育実習IV(施設)事前事後指導



自分を知り、相手を知り、
豊かな仲間関係を考える。

石川 悦子 教授 ISHIKAWA Etsuko

専門分野 カウンセリング、教育臨床心理学

担当科目 こども理解と教育相談、子育て支援カウンセリング、保育相談支援、基礎ゼミ、専門研究ゼミI、国外保育体験、こども心理学、こどもと親のストレスマネジメント



こどもの心に寄り添う歌、
こどもの心と響き合う歌を。

葛西 健治 准教授 KASAI Kenji

専門分野 音楽(声楽)

担当科目 専門研究ゼミI・II、宝仙の歴史、宝仙の教育、音楽と表現I・II、歌遊び



「こどもから保育を学ぶ」
心を大切にできる保育者へ。

富山 大士 教授 TOMIYAMA Futoshi

専門分野 保育学、幼児教育学

担当科目 保育内容(環境)、保育内容総論、保育実践演習、保育の現場を知るIII、専門研究ゼミI、保育実践フィールドワーク



こどもの未来と自身の明日を
育むことができる保育者へ。

松崎 真実 専任講師 MATSUZAKI Mami

専門分野 保育学(幼児教育分野)

担当科目 保育内容(表現)、専門研究ゼミI・II、英語(初級・中級)、保育方法論、保育実習I(保育所)、保育実習II(保育所)事前事後指導



「知識を実践につなぐ」
確かな専門性をもつ保育者に。

青木 弥生 教授 AOKI Yayoi

専門分野 発達心理学

担当科目 発達心理学、こどもの理解と援助、こども心理学、保育内容(人間関係)、保育内容(言葉)、保育の現場を知るIII、専門研究ゼミII、基礎ゼミ、こどもの理解と援助



楽しく「表現」の豊かさを
伝えていく保育者に。

捧 公志朗 教授 SASAGE Koshiro

専門分野 美術

担当科目 造形と表現、保育内容の指導法II、専門研究ゼミII、保育実践演習、地域文化体験



深い教養と広い心で、
平和を追求する保育者に。

西脇 二葉 准教授 NISHIWAKI Futaba

専門分野 子ども学・保育学

担当科目 教育実習、教育実習事前事後指導、保育実習II(保育所)、保育実習III(保育所)事前事後指導、保育の現場を知るIII、保育の現場を知るIV、基礎ゼミ、保育実践演習、保育カリキュラム論、子育て支援フィールドワーク(応用)



こどもの奥深さを感じ、
保育の神髄を探る。

守 巧 教授 MORI Takumi

専門分野 幼児教育学・保育学・特別支援教育学

担当科目 障害児保育演習、障害児の発達と理解、家庭支援論、保育実践演習、専門研究ゼミII、教育実習、教育実習事前事後指導、特別支援教育概論



ITリテラシーから、
より良い幼児教育へ。

石原 正仁 教授 ISHIHARA Masahito

専門分野 情報処理

担当科目 情報処理演習(基礎・応用)、情報メディア演習、プレゼンテーション演習、情報リテラシー、地域文化体験、専門研究ゼミII、基礎ゼミ



身体をたくさん動かして、
心身ともに健康に。

塩野谷 祐子 准教授 SHIONOYA Yuko

専門分野 健康教育、身体教育

担当科目 健康スポーツ実技、健康スポーツ理論、身体と表現、身体遊び実践論、基礎ゼミ、専門研究ゼミI、保育実習I(保育所)、保育実習II(保育所)事前事後指導



洞察力と情熱と慈しみの
心をもって一歩前へ。

林 隆嗣 教授 HAYASHI Takatsugu

専門分野 インド学・仏教学

担当科目 仏教概論(歴史)、仏教概論(思想)、現代の倫理と宗教、基礎ゼミ、専門研究ゼミI、宝仙の歴史、宝仙の教育、保育の現場を知るIV、生と死を考える



グローバル時代に対応できる
保育者をめざして。

本多 舞 専任講師 HONDA Mai

専門分野 教育学

担当科目 保育実践演習、こども英語指導法、国外保育体験、教育原理、教育制度論、子育て支援フィールドワーク(基礎)、保育の現場を知るI、専門研究ゼミI、教育実習、教育実習事前事後指導



体と心を育む食を
学びましょう。

今井 景子 准教授 IMAI Keiko

専門分野 栄養学、食品学、食育

担当科目 こどもの食と栄養、食育と現代社会、専門研究ゼミI・II、こども食育実践論



こどもの声に耳を傾け、
ともに生きる。

須永 美紀 教授 SUNAGA Miki

専門分野 幼児教育学、保育学

担当科目 教職・保育概論、保育実習II(保育所)、保育実習III(保育所)事前事後指導、乳児保育I・II、専門研究ゼミI、保育実践演習、保育の現場を知るI、保育実践フィールドワーク



相手を思いやる心、
自分を大切に思う心を育てる。

松浦 美奈 専任講師 MATSUUURA Mina

専門分野 保育学、幼児教育学

担当科目 保育原理、保育内容の指導法I、保育の現場を知るII、保育実習II(保育所)、在宅保育論、保育実践演習、専門研究ゼミII、保育実習II(保育所)事前事後指導

非常勤教員

- 赤木 真弓 AKAGI Mayumi
- 李 柱憲 Yi Joohyun
- 五十嵐 美加 IGARASHI Mika
- 内山 菜津子 UCHIYAMA Natsuko
- 大村 三千野 OMURA Michino
- 大竹 聖美 OTAKE Kiyomi
- 川田 将人 KAWADA Masato
- 小森 光紗 KOMORI Misa
- 齋藤 亜都沙 SAITO Azusa
- 塩瀬 治 SHIOSE Osamu
- 志田尾 恭子 SHIDAO Yasuko
- 嶋田 陽子 SHIMADA Yoko
- 照屋 洋 TERUYA Hiroshi
- 中野 由紀子 NAKANO Yukiko
- 朴 美京 PARK Mikyung
- 堀川 智子 HORIKAWA Tomoko
- 宮平 千穂 MIYAHARA Chihō
- 楊 殿閣 YANAGI Denka
- 山崎 英壽 YAMAZAKI Eiji

(2023年4月現在)

HOSEN SNS

LINE



高校生向けイベントや入試情報を配信しています。友だち追加でチャット相談もできます。

@kodomohosen (LINE ID)

Twitter



高校生向けイベントや入試情報をいち早く配信中!

@kodomohosen (Twitter ID)

Instagram



学生生活や行事の様子など普段の学生の様子を写真で配信しています。

kodomohosen (Instagram ID)

Web Site

詳しい情報・資料請求はホームページをご覧ください。

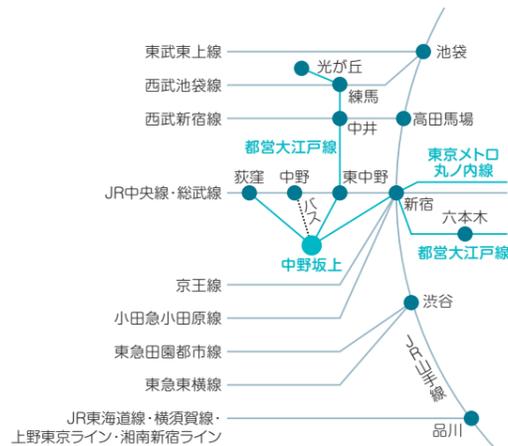
<http://hosen.ac.jp/>

携帯・スマホはコチラから

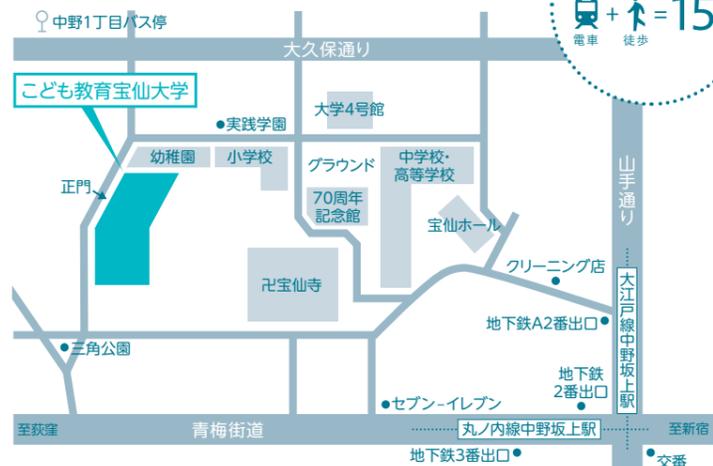


Access

キャンパスは新宿駅から15分。東京メトロ丸ノ内線と都営地下鉄大江戸線が乗り入れる「中野坂上駅」が最寄り駅となります。



新宿から
電車 + 徒歩 = 15分



- 東京メトロ丸ノ内線 「中野坂上駅」2番・3番出口より 徒歩8分
- 都営地下鉄大江戸線 「中野坂上駅」A2番出口より 徒歩8分
- JR中央線・総武線 「中野駅」南口より バス6分 京王バス[中野坂上経由渋谷行] 関東バス[新宿西口行] バス停「中野1丁目」より 徒歩3分

右記QRコードから大学までのアクセスがご覧いただけます!



Information

入学センター

入試・オープンキャンパスについてのお問い合わせ
進学アドバイザーが入試やオープンキャンパスに関するお問い合わせ、ご相談に応じています。お気軽にご連絡ください。
TEL: 03-3365-0267 MAIL: kodomo_nc@po2.hosen.ac.jp

OPEN CAMPUS 2023

宝仙で開こう、「こども教育」への扉。

オープンキャンパスで、こども教育宝仙大学の魅力を体感してください!

- キャンパス見学
- 大学説明
- 体験授業
- 入試サポート講座
- 大学生に聞いてみよう
- 個別相談

本学HPからお申し込みください。



オープンキャンパスの日程

3/12 日	3/26 日	4/23 日	5/7 日	5/21 日	6/11 日
6/25 日	7/9 日	7/23 日	8/6 日	8/27 日	9/10 日
10/1 日	11/5 日	12/10 日	2024 2/18 日	3/10 日	3/24 日